

委員各位

一般社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 及川初彦
JIW第3委員会
委員長 及川初彦
(公印省略)

開催通知

第107回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、各位お繰合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。なお、ご出欠は回答欄にご記入の上、e-mail(s_kogure@tt.rim.or.jp)にて、事務局に平成26年11月11日(火)迄にお知らせ下さい。

記

1. 日時

平成26年11月18日(火) 10:30～16:30

2. 場所

大阪大学接合科学研究所 荒田記念館 (大阪)
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 11 番 1 号
(案内図をご参照下さい)

3. テーマ

抵抗溶接・FSW・圧接技術全般

4. 幹事会のお知らせ

昼食休憩時に幹事会を開催いたしますので、役員および幹事(または代理)の方はご参集下さいますようお願い申し上げます。

☆出席人数が一事業所2名を越えますときは、3人目から、資料費として1名につき2,000円を納入願います。なお、その場合は、あらかじめ返信メールにてお知らせ下さい。

第107回 軽構造接合加工研究委員会プログラム

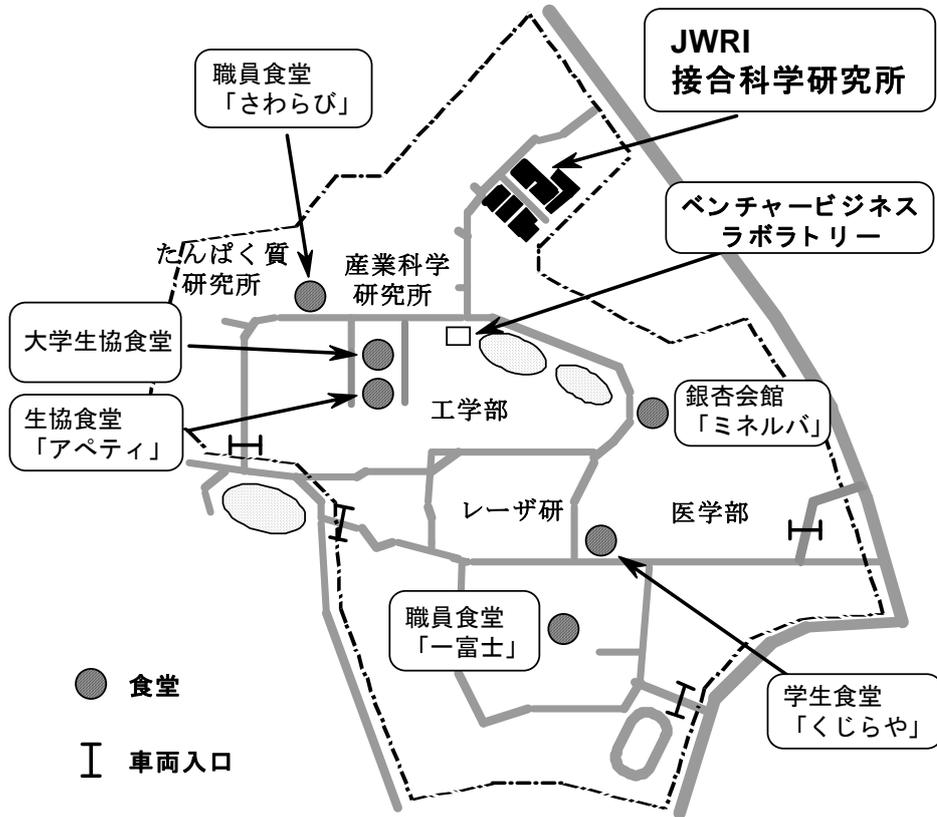
－抵抗溶接・FSW・圧接技術全般－

1. 日時:平成26年11月18日(火)10:30～16:30
2. 場所:大阪大学 接合科学研究所 荒田記念館
3. プログラム (都合により若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

時 間	題 目	講 演 者
10:30 ～ 11:15	Ni基超々合金製ツールによる SUS430板及び純チタン板の摩擦攪拌接合 (MP-568-2014)	アイセル(株) ○望月 昇 大阪府立大学 高杉 隆幸, 金野 泰幸 近畿大学 沖 幸男 大阪府立産業技術総合研究所 平田 智文
新規開発の耐熱合金であるNi基超々合金製ツールにより、1mm厚のSUS430及び1.5mm厚の純チタン板の摩擦攪拌接合試験を行った結果について報告する。		
11:15 ～ 12:00	スポット溶接のチリ発生に及ぼす電極外周加圧の影響 (MP-569-2014)	(株)神戸製鋼所 材質制御研究室 ○村上俊夫
近年、自動車の車体への高強度鋼板の適用が進んでいる。一般に高強度鋼板は高成分で溶接時のチリ発生が起こりやすく適正電流範囲が狭くなる傾向にある。スポット溶接のチリは板間から発生する中チリが主体となる。本研究では中チリを防止する手法として、電極周囲から加圧・冷却する方法を抽出し、その手法がスポット溶接時のチリ発生挙動に及ぼす影響について検討した。		
12:00 ～ 13:00	昼食および休憩 (幹事会の開催)	
13:00 ～ 13:15	委員会 (軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会) 議事	
13:15 ～ 14:00	ホットスタンプ鋼板の抵抗溶接性 (MP-570-2014)	新日鐵住金(株)接合研究部 ○古迫誠司
ホットスタンプ鋼板のスポット溶接性を中心に紹介する。プロジェクション溶接性についても若干触れる。		
14:00 ～ 14:45	熱膨張加圧によるに簡便な接合法 (MP-571-2014)	WELLBOND ○大橋 修 文化学園大学 成井美穂 アイハラ鍛金スタジオ 相原健作
熱膨張係数の差を利用した接合体を加圧する接合治具を用いて、木目金用の銅合金板が積層接合できる事。また、本接合法は、従来の一定圧力下での接合法と比較して、熱膨張差に起因した大きな応力で接合面の密着が促進され、接合面の酸化が抑制されて、接合性が改善する事を述べる。		
14:45 ～ 15:00	休 憩	
15:00 ～ 15:45	軽合金の摩擦攪拌接合継手の疲労挙動 (MP-572-2014)	岐阜大学 工学部 ○柿内利文, 植松美彦
摩擦攪拌接合(FSW)は固相接合法の一種で、低い融点、異なる融点の材料の接合に適している。本講演では軽合金(Al合金, Mg合金)および異種金属のFSW継手の疲労挙動の研究を紹介する。		
15:45 ～ 16:30	スパッタ金属多層膜を用いた瞬間ハンダ接合技術 (MP-573-2014)	兵庫県立大学 大学院工学研究科 ○生津資大
軽金属と遷移金属をナノの厚みで積層堆積させた多層膜は、極微小な外部刺激により化合物生成に伴う自己伝播発熱反応を生じる。本講演では、著者らが開発したAl/Ni多層膜を用いたマイクロデバイス実装用の瞬間ハンダ接合技術を紹介する。		

※○：講演者

大阪大学吹田キャンパス 食堂案内



大阪大学接合科学研究所

〒567-0047

大阪府茨木市美穂ヶ丘11番1号

電話 06(6879)8678